

「新規事業」の進捗状況
(第２期市川市教育振興基本計画)

１．「校内塾・まなびくらぶ」の充実

(１) 事業のねらい

放課後・夏季休業中などの補習指導により、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容を習得させ、小・中学校の学力向上を図る。

(２) 進捗状況

平成 26 年 8 月 全小・中学校で開設 (小 39 校 中 16 校)

平成 27 年 2 月 参加者アンケート実施

○事業実績 (平成 26 年度)

登録者数 : 4,441 人 (全小・中学生の 13.7%) 参加総数 : 延べ 44,133 人
学びサポーター (指導者) : 186 名 ※退職教員、教員志望の大学生など。

○効果 (参加者アンケート結果)

- ・「わかった、できるようになった」(82.5%)
- ・「学習することが楽しい」(78.4%)
- ・「言われなくても進んで学習する」(63.5%)

(３) 今後の予定

平成 27 年度は、大規模校 (19 学級以上) 29 校に補正予算 (300 万円) を配当し、事業を充実。

２．小中一貫教育の推進

(１) 事業のねらい

塩浜小中学校を小中一貫校とするなど、学校間の連携を推進し、子どもの学びと育ちを支える。

(2) 進捗状況

- 平成 25 年 12 月 「塩浜小中一貫校検討委員会」設置
平成 26 年 8 月 「塩浜小中一貫校に関する基本計画」策定
12 月 「教育課程特例校」の認可（文部科学省）
平成 27 年 3 月 小学 5，6 年生が中学校校舎へ移動。
4 月 塩浜学園「開校式」開催
5 月 「塩浜学園運営委員会」設置
6 月 学校教育法改正（H28.4～義務教育学校制度化）

○学年区分（4・3・2 制） ○中期からの教科担任制の導入
○「塩浜ふるさと防災科」（教育課程特例）の新設 ○理数教育の充実 など

(3) 今後の予定

「塩浜学園運営委員会」での検討（小中一貫教育の検証、「塩浜ふるさと防災科」のカリキュラム開発、本体校舎の整備 等）

3. 中高連携の推進

(1) 事業のねらい

国の制度によらない、教育課程上の連携を軸とした中高連携の取組（市川版中高一貫教育）を、公立・私立の設置者の立場を超えて推進することにより、子どもの学びと育ちを支える。

(2) 進捗状況（今後の予定）

- 平成 27 年 2 月 「市川市中高連携連絡協議会」の設置
5 月 「市川市中高連携推進に関する基本構想」策定
8 月 「学校間連携推進研修会」の開催
(市内私立学校より一貫教育の取組発表)

【モデル校 前期 H27-29、後期 H30-32】

- ・国府台高校と第一中学校・・・学力向上
- ・市川工業高校と第八中学校・・・キャリア教育
- ・市川南高校と高谷中学校・・・人間力